

令和7年2月14日
 JA中野市営農センター
 JA中野市プラム部会

● 本年は積雪量が平年より少なく、気温も平年より高く推移しており、平年よりも生育が早まると予想されます。


● 春季は気象変動が激しく品種・地域によって生育の開きが大きいので、園地状況を確認し適期防除に努めましょう。

(平岡定点) 太陽 発芽日

平年	R4	R5	R6	R7
3/24	4/3	3/23	4/1	3/22?

1. 薬剤散布

【第1回 定期防除】 対象病害虫：ふくろみ病・カイガラムシ類

散布時期	発芽前 ・プラム : 3月上旬 (右写真 参照) 南部地域は3月初旬頃～ ・プルーン : 3月中下旬～	プラム「ふくろみ病」防除時期  花蕾が開き始めるまでに散布する。
散布薬剤	水 98ℓ トレノックスフロアブル 200ml スプレーオイル 2ℓ	散布日 ___ 月 ___ 日 散布量 ___ ℓ
散布量	300ℓ / 10a	
注意事項	① <u>【カイガラムシ強化対策】</u> アプロードフロアブル 1,000倍 (14日前、2回) を加用する。 ② <u>【ふくろみ病 対策】</u> トレノックスフロアブルに代えて、石灰硫黄合剤 140倍を散布する。 ※他の園地や隣接するハウスビニールに飛散しないように注意する。 石灰硫黄合剤を散布出来ない場合は、ナリア WDG 2,000倍 (前日、2回) を加用する。2/14～3/31 の期間でナリア WDG を購入された場合は、資材センターにて予約価格で対応します。	

裏面もご覧ください。

2. 重要病害虫

① ぷくろみ病

越冬場所：樹上（主に芽の周辺）

防除対策：石灰硫黄合剤、殺菌剤の散布。被害果実の除去。

防除適期：発芽前、花蕾が開き始めるまでに（休眠期および第1回定期散布）

ぷくろみ病 被害果実



ぷくろみ病 感染開始期(花蕾が開き始めた頃～)



この頃から、降雨により感染する。

② ウメシロカイガラムシ

越冬場所：樹上（主に枝の表面）

防除対策：①マシン油乳剤（スプレーオイル）、殺虫剤の散布

②ワイヤーブラシで擦り落とす。被害枝を切除する。

防除適期：休眠期（スプレーオイル散布）、5月中下旬（殺虫剤散布）

ウメシロカイガラムシ越冬成虫



（白い殻を剥がすとオレンジ色の成虫が見える）

